

温泉分析書

1. 申請者

住所 山梨県山梨市三富川浦297
氏名 穂野 富士雄

2. 源泉名及び湧出地

源泉名 白龍閣源泉

湧出地 山梨県山梨市三富川浦字川窪293-7 貯湯槽後採水

3. 湧出地における調査及び試験成績

イ 調査機関及び試験者 株式会社 メイキョー 湧出地試験者 秋山永子・丸山聖子
ロ 調査及び試験年月日 令和元年9月11日
ハ 泉温 48.3 °C (調査時における気温 26.5 °C)
ニ 湧出量 200 l/min (動力揚湯)
ホ 知覚的試験 無色澄明・無味・弱硫化水素臭
ヘ pH値 8.7
ト EC 0.108 S/m

4. 試験室における試験成績

イ 調査機関及び試験者 株式会社 メイキョー 分析責任者 荻原 清志
ロ 分析終了年月日 令和元年9月25日
ハ 知覚的試験 無色澄明・無味・弱硫化水素臭
ニ 密度 0.9953 g/cm³ (20°C/4°C)
ホ pH値 8.9
ヘ 蒸発残留物 694 mg/kg (乾燥温度 110°C)

調査分析機関	分析書発行年月日	令和元年9月30日	資料番号	M19-3041
	株式会社 メイキョー		登録番号	16山梨み自第3号
	代表取締役 功刀茂夫		〒400-0047 山梨県甲府市徳行2-2-38	
	TEL 055-228-2858		FAX 055-228-8343	

5. 試料 1 kg中の成分、分量及び組成

(1) 陽イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
水素イオン (H ⁺)	0.0	0.00	0.00
リチウムイオン (Li ⁺)	0.2	0.03	0.33
ナトリウムイオン (Na ⁺)	145.5	6.33	70.18
カリウムイオン (K ⁺)	1.9	0.05	0.55
アンモニウムイオン (NH ₄ ⁺)	0.0	0.00	0.00
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	0.0	0.00	0.00
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	52.2	2.60	28.82
ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	0.3	0.01	0.11
バリウムイオン (Ba ²⁺)	0.0	0.00	0.00
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	0.0	0.00	0.00
マンガンイオン (Mn ²⁺)	0.0	0.00	0.00
鉄(Ⅱ)イオン (Fe ²⁺)	0.0	0.00	0.00
鉄(Ⅲ)イオン (Fe ³⁺)	0.0	0.00	0.00
銅イオン (Cu ²⁺)	0.0	0.00	0.00
亜鉛イオン (Zn ²⁺)	0.0	0.00	0.00
陽イオン計	200.1	9.02	100.0

*定量下限値(0.1mg)未満は0として計算しました

(2) 陰イオン

成分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
フッ化物イオン (F ⁻)	1.1	0.06	0.64
塩化物イオン (Cl ⁻)	95.4	2.69	28.56
臭化物イオン (Br ⁻)	0.3	0.00	0.00
ヨウ化物イオン (I ⁻)	0.0	0.00	0.00
亜硝酸イオン (NO ₂ ⁻)	0.0	0.00	0.00
硝酸イオン (NO ₃ ⁻)	0.0	0.00	0.00
水酸化物イオン (OH ⁻)	0.0	0.00	0.00
硫化水素イオン (HS ⁻)	0.2	0.01	0.11
硫化物イオン (S ²⁻)	0.0	0.00	0.00
硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	292.1	6.08	64.54
チオ硫酸イオン (S ₂ O ₃ ²⁻)	0.0	0.00	0.00
りん酸水素イオン (HPO ₄ ²⁻)	0.0	0.00	0.00
炭酸水素イオン (HCO ₃ ⁻)	18.7	0.31	3.29
炭酸イオン (CO ₃ ²⁻)	8.1	0.27	2.87
陰イオン計	415.9	9.42	100.0

*定量下限値(0.1mg)未満は0として計算しました

(3) 非解離成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
矽酸 (H ₂ SiO ₃)	47.0	0.60
ほう酸 (HBO ₂)	6.7	0.15
亜砒酸 (HAsO ₂)	0.3	0.00
非解離成分計	54.0	0.75

*定量下限値(0.1mg)未満は0として計算しました

溶存物質(ガス状のものを除く)	
670.0	mg/kg

(4) 溶存ガス成分

成分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)
遊離二酸化炭素(CO ₂)	433.2	9.85
遊離硫化水素 (H ₂ S)	0.0	0.00
溶存ガス成分計	433.2	9.85

*定量下限値(0.1mg)未満は0として計算しました

成分総計	
1103	mg/kg

(5) その他微量成分

成分	ミリグラム (mg)
総砒素 (As)	0.192
鉛 (Pb)	0.01未満
総水銀 (Hg)	0.0005未満
総クロム (Cr)	0.02未満
カドミウム (Cd)	0.01未満

6. 泉質

アルカリ性単純温泉

(低張性-アルカリ性-高温泉)

7. 禁忌症・適応症等

温泉分析書別表中の5に記載

温泉分析書別表

1. 源泉名 白龍閣源泉
2. 湧出地 山梨県山梨市三富川浦字川窪293-7
3. 温泉分析申請者 穂野 富士雄
4. 泉質 アルカリ性単純温泉
(低張性-アルカリ性-高温泉)
5. 分析結果による療養泉分類に基づく禁忌症、適応症等は環境省自然環境局長通知(平成26年7月1日)環自総発第1407012号によれば次のとおりである。

【浴用の禁忌症】

一般的禁忌症

病気の活動期(特に熱のある時)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期。

泉質別禁忌症

該当なし

【浴用の適応症】

一般的適応症

筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進。

泉質別適応症

自律神経不安定症、不眠症、うつ状態。

入浴上の注意

浴用の方法及び注意

温泉の浴用は、以下の事項を守って行う必要がある。

ア. 入浴前の注意

- (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。
- (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。
- (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。
- (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。
- (オ) 浴槽に入る前に、手足からかけ湯をして温度に慣らすとともに身体を洗い流すこと。
- (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水状態にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。

イ. 入浴方法

- (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。
- (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。
- (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。
- (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。

ウ. 入浴中の注意

- (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。
- (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようゆっくり出ること。
- (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。

エ. 入浴後の注意

- (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること。(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質では、温泉成分を温水で洗い流したほうがよいこと。)
- (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ1杯程度の水分を補給すること。

オ. 湯あたり

温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。

カ. その他

浴槽の清潔を保つため、浴槽にはタオルは入れないこと。

(注)この別表は、温泉法第18条による掲示に必要な参考資料となるものである。

調査分析機関	分析書発行年月日	令和元年9月30日	資料番号	M19-3041
	株式会社	メイキョー	登録番号	16山梨み自第3号
	代表取締役	切刀茂夫	〒400-0047	山梨県甲府市徳行2-2-38
	TEL 055-228-2858		FAX 055-228-8343	